留学生と協働関係を

減災社会へ向けて

柏崎でフォーラム

6月27日に「国際留学生フォーラムin柏崎」が開催された。3月の長岡に続く2回目のフォーラムで、災害と留学生をテーマに活発な意見交換が行われた。中越大震災や中越沖地震でも課題となった外国人住民への情報提供や支援活動を円滑に進めるために、また防災や復興に関する日本の知恵やノウハウを世界で役立てるためにも、留学生の役割や期待は大きい。減災社会へ向けて、今回は留学生に注目してみた。

新潟での出会い はぐくめ 減災の知恵 世界へ

新潟県内の大学・短大への留学生は1000人を超える。中国が4割近くを占めるのをはじめ、ほとんどがアジアからの留学生だ。

彼らの多くは地震を体験したことがなく、避難訓練などの災害学習も未体験だ。また言葉や文化の違いから、災害や避難に関する情報がうまく伝わらないことも多い。そのため中越大震災や中越沖地震では、留学生がアパートに孤立するなどの混乱も発生した。

留学生に限らず外国人は「災害弱者」になりやすい。災害や避難に関する情報はほとんどが日本語で提供されるため、どうしていいわからず孤立しやすい。また「こっちへおいで」という手招きのしぐさが、「あっち へ行け」を意味する国が多く言語で提供する動きが高まっているが、国際化の進展とともに、災害時に配られるとは考えられにおける外国人への情報提供や避難支援は、日本社会の大きな課題となっている。

ところで中越大震災や中越沖地震では注目すべき動きが見られた。それは、留学生同士が国籍を超えて助け合ったり、避難所で外国人家族を応援するボランティアを始めたりするといった動きだ。

そうした動きは県内の各大学でさらにひろがり、日本人被災者を支援するボランティア活動への参加、四川大地震やミャンマーのサイクロン（台風）被害の募金・支援活動などとつながっている。また研究テーマを災害や復興にする留学生も現れている。

こうした留学生の動向に早くから注目し活動を見守り、国際留学生フォーラムの発案者でもある羽賀友信さん（長岡市国際交流センター長、中越防災安全推進機構理事）は次のように留学生への期待を語る。

「留学生は防災や減災を進める上での重要なキーマンとなる。私は三つの役割を期待している。

まずは地域住民の一員としての役割。自主防災組織への参加などで、地域で助け合う関係を住民と一緒に作って欲しい。

次に留学生ならではの外国人向けの災害ボランティア活動。災害発生時だけでなく、平時の情報提供や防災学習などにも力を貸して欲しい。

最後に防災や減災に関する国際連携の架け橋の役割。災害多発国の日本から、防災や減災に関する知恵やノウハウを学んで、ぜひ母国に持ち帰ってもらいたい。また日本者とダイレクトに結つと各国を結ぶ役割にも期待している。

羽賀さんによると、四川大地震やミャンマーのサイクロン被害など、アジア各地で発生した大規模な自然災害によって、災害や防災に対する留学生の関心が高まっている。また募金活動などで、新潟の人たちが温かく協力してくれたことに感激した留学生も多く、それが被災者との交流やボランティア活動の活発化につながっている。

さらに、留学生を通じて、各国の被災地や被災者とつながっていくことの意義は、民間による草の根支援が可能になることの重要性を指摘する。確かに、政府レベルの連携や支援活動を補完するルートが、復旧・復興の足掛かりとして、国境を超える被災地連携や交流の重要性を語り合った。今回は一歩進めて、災害時や平時における、留学生と地域社会との関係性について活発な意見交換を行った。新潟県に留学して きたという出会いを大切にして、課題を共有することにより、さまざまなレベルで協働する関係を構築していこうという結論は参加者の大きな賛同を得た。

留学生が新潟県での暮らしを安全・安心に過ごすために、新潟で暮らす外国人の安全と安心を高めるために、そしてアジア各国の防災力や復興力を強くするために。新潟県で学ぶ留学生には、防災や復興に関心を持ち、来るべき減災社会をリードする役割を期待したい。

災害と留学生をテーマに意見交換した国際留学生フォーラム＝6月27日、柏崎エネルギーホール

多彩な役割に期待

減災への取り組みを熱心に聞く参加者

県内留学生の出身国（上位10カ国、2008年）

国名	人数
中国	419人
マレーシア	114人
ベトナム	67人
韓国	56人
インドネシア	55人
タイ	52人
ミャンマー	34人
バングラデシュ	31人
モンゴル	29人
フィリピン	25人

（新潟県資料）

＜次号案内＞
次号第14号は8月3日（月）に発行します。
中越地域で始まっている防災グリーンツーリズムへの取り組みなどを紹介します。

長岡市での経験がきっかけ 災害時の情報伝達を研究 梁根榮（ヤン クンヨン）さん

ヤン・クンヨン 千葉大学大学院工学研究科博士課程在学中。第1回フォーラムに参加

2004年の春に交換留学生として長岡造形大学に来ました。9月に韓国に帰国したので、中越大震災は体験していません。

翌春再来日して、長岡造形大学の博士課程に入学。まちにもキャンパスにも地震のつめ跡が残っていたのを覚えています。『国際交流センターで、外国人のための避難カード作りの活動に参加したのはその夏のこと。韓国の大学時代にやったボランティア活動（絵文字）などの視覚記号（サイン）が研究テーマでしたから、お役に立てるかなと思い、お手伝いしました。

被災した外国人に、欲しかった情報は何か、伝えられず困ったことは何かなどの話を聞きながら、それを伝えるための絵文字をデザイン。みんなの意見を聞きながら改良し、外国人が災害時に安全に避難するためのカード を完成させました。

この経験が一つの転機となって、災害時のコミュニケーション・デザインを研究テーマにしました。災害という非常時に、必要な情報を誰にも分かりやすく伝えるために有効なコミュニケーション手法、それも絵文字など世界中で共有できるものを研究中です。

現在は千葉大学に移りましたが、長岡の経験が私の原点となっています。

絵文字など使い 情報共有目指す

中越イベント情報

長岡市

■ほたる狩り・夏の里山体験
【日時】7月18日（土）～19日（日）
【会場】長岡市小国町法木集落
宿泊：法木自然の家「やまびこ」
【内容】子どもが、昔ながらの棚田の農村で、自然や田んぼを体験するプログラムの第1弾。東京からのバス組と新潟県内の現地組が一緒に体験。大人7250円、子ども5750円。大人だけは不可。1泊3食（1日目夕食、2日目の朝食・昼食）体験費用（指導料・材料費等）、傷害保険料を含む。現地までの交通費は含まず
【問い合わせ】申し込み先 NPO法人 日本都市計画家協会 中越震災復興プランニングエイド 電話03(5401)3359、ファクス03(5401)3389
■秋葉の火まつり
【日時】7月24日（金）20:00～
【会場】旧栃尾秋葉公園・常安寺
【内容】火伏せ（火防）の神として全国に信者を持つ秋葉三尺坊大権現の祭り
【問い合わせ】常安寺 0258(52)2318

川口町

■よってげ亭 ふれあい市
【日時】7月19日（日）10:00～14:00
【会場】東川口商店街（国道17号沿い、案内看板あり）
【内容】特産品、手打ちそば、手作り総菜、お好み焼きなど販売
【問い合わせ】本町通り復興活性化委員会 0258(89)2079（内藤克己代表）

小千谷市

■二荒神社祭礼
【日時】7月13日（月）～15日（水）
【会場】二荒神社
【内容】山の神（天狗）を中心に牡獅子・牝獅子・子獅子の3頭と子どもたちが舞う「農年獅子舞」、巫女（みこ）と爺（じい）の人形がおはやしに合わせて踊る「巫女爺人形操り」の披露
【問い合わせ】小千谷観光協会 0258(83)3512
■創作七宝作品展
【日時】7月20日（月）まで 火曜日休館
【会場】小千谷市民学習センター「楽集館」
【内容】市内在住の七宝焼作家の作品を展示
【問い合わせ】小千谷市民学習センター「楽集館」 0258(82)8282
■第6回じゃがいも掘りツアー
【日時】7月25日（土）、26日（日）、8月1日（土）、2日（日） 8:00～12:00 ※雨天時は問い合わせを
【会場】山本山山頂のじゃがいも畑。直接会場へ
【内容】作業できる服装、着替え、虫よけスプレー、軍手、入れ物を持参。1区画（畝8m）1000円。掘ったじゃがいもは持ち帰り。収穫予定量は約20袋。入れ物（20袋用）は当日100円で販売。
【問い合わせ】NPO法人グリーンライフおぢや 電話0258(81)7812 ファクス0258(81)7810
■牛の角突きカレンダー写真募集
【日時】7月9日（木）必着
【内容】小千谷闘牛振興協議会では、「2010年角突きカレンダー」に掲載する写真を公募。「カレンダー写真在中」と記入の上、問い合わせ先へ送付（形式は問わず）。写真の返却は不可。写真の掲載は、カレンダーの発売をもって発表に代える
【問い合わせ】小千谷市東山連絡所 0258(59)2003、Eメール Higasiyama-r@city.ojiya.niigata.jp

南魚沼市

■八色スイカまつり
【日時】7月25日（土）ごろ～8月上旬 9:00～17:00 ※天候により、日程変更あり
【会場】JA魚沼みなみ営農センター駐車場内テント
【内容】八色スイカを産地価格で提供。食べ放題イベント（大人500円、小学生以下300円）も開催
【問い合わせ】JA魚沼みなみ営農センター 025(777)3180
■しゃくなげ湖まつり
【日時】7月26日（日） 水上イベント9:00～、野外イベント11:00～
【会場】三国川ダムしゃくなげ湖付近、しゃくなげ湖下部
【内容】巡視船での湖一周、年間10度に保たれたダム堤防内の監査廊見学ツアー、魚のつかみ捕りなど。地元の五十沢歌舞伎上演会や模擬店、木工体験も
【問い合わせ】しゃくなげ湖畔開発公社 025(774)2200
■南魚沼市兼続公まつり
【日時】8月1日（土）11:00～21:00 2日（日）9:00～21:00
【会場】JR六日町駅東口より徒歩5分、国道291号沿線特設会場
【内容】大民謡流し「お六流し」、神輿（みこし）渡御、戦国武将鎧（よろい）パレード、米沢藩稲富流砲術隊実演、大煙火大会など
【問い合わせ】南魚沼市兼続公まつり実行委員会 025(772)7171

十日町市

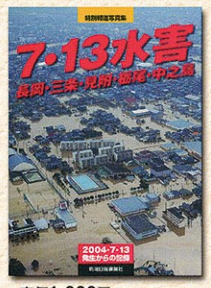
■あじさいまつり
【日時】7月上旬～下旬。ライトアップ 19:00～22:00ごろ
【会場】十日町市八箇落之水 あじさい公園
【内容】5.8㌶の斜面に1万4000株のアジサイを植栽。ライトアップも
【問い合わせ】十日町市観光協会観光交流課 025(757)3100

柏崎市

■新潟県中越沖地震2周年合同追悼式
【日時】7月16日（木）10:00～11:00
【会場】柏崎市市民プラザ 海のホール
【内容】中越沖地震の犠牲者に哀悼の意をささげるとともに、全国からの支援に感謝し、復興に向けて力強く歩む決意を内外に示す
【問い合わせ】柏崎市市民生活部復興支援室 0257(23)5143
■新潟県中越沖地震2周年復興祈念事業復興フォーラム
【日時】7月16日（木）12:30～14:30
【会場】柏崎市産業文化会館
【内容】低炭素社会の実現・新エネルギー産業育成に向けた柏崎からのメッセージ。出演は三橋規宏氏（経済・環境ジャーナリスト、千葉商科大学教授）、西川正男氏（柏崎商工会議所副会頭、株式会社サイカワ代表取締役社長）、泉田知事。申し込みは要問い合わせ
【問い合わせ】新潟県県民生活・環境部震災復興支援課 025(280)5379
■新潟県中越沖地震2周年復興祈念事業復興コンサート
【日時】7月16日（木）17:45開場、18:15開演、19:30終演
【会場】柏崎市市民プラザ 海のホール
【内容】柏崎市立劍野小学校19年度卒業生の合唱と陸上自衛隊第12音楽隊の演奏
【問い合わせ】柏崎市市民生活部復興支援室 0257(23)5143
■中越沖地震復興応援祈念100キロマラソン「忘れないぞ、中越沖地震」
【日時】7月12日（日）4:00集合、4:30スタート、19:00ゴール予定
【会場】米山小学校～みなとまち海浜公園・夕陽ドーム
【内容】仮設住宅で暮らす人々を応援するため、一日かけて40カ所の仮設住宅の近くを走る。1人が何度も走れる変形リレー方式、決められた時間通りに全員で一緒に走るマラソン
【問い合わせ】米山台たんぽぽ大図さん 090(2167)5246

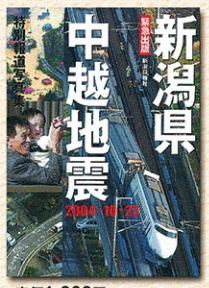
「社団法人 中越防災安全推進機構 復興デザインセンター」のサイトに、Web版「新潟 防災ジャーナル」が公開されています。
このサイトは、中越地震・中越沖地震からの復興に取り組む皆さんの情報発信の場として、コミュニケーションの場として活用頂けるよう運営しています。
ホームページアドレスはhttp://fukkou-design.jp

〒951-8131 新潟市中央区白山浦2-645-54
TEL025-233-2100（直通）FAX025-230-1833
新潟日報事業社の本
インターネットで書籍の紹介をしています。新潟日報事業社 検索

特別報道写真集
7・13水害 長岡・三条・見附・栃尾・中之島
新潟日報事業社 編
2004年7月13日、新潟県中越地方を襲った集中豪雨による被害の模様を、新潟日報の報道写真で綴る。

●定価1,000円（本体952円+税）
●A4判 72ページ 04年8月発行

報道写真&記録DVD
10・23新潟県中越地震 1年の記録
新潟日報社・BSN新潟放送 発行
最大震度7を記録した新潟県中越地震の発生から1年間の記録をまとめた記録集。新聞紙面で使われた報道写真とニュース映像のDVDを1冊に。

●定価1,500円（本体1,429円+税）
●A4判 144ページ 05年10月発行

特別報道写真集
新潟県中越地震
新潟日報社 発行
2004年10月23日、新潟県中越地方を襲った直下型地震の模様を、新潟日報の報道写真で綴る。

●定価1,000円（本体952円+税）
●A4判 88ページ 04年11月発行

特別報道写真集
新潟県中越沖地震
新潟日報社 発行
2007年7月16日、新潟県中越沖を震源とする最大震度6強の地震が発生。甚大な被害をもたらした地震の報道写真集。

●定価1,000円（本体952円+税）
●A4判 72ページ 07年8月発行